

たんぽぽ

第83号

兵庫県養父市堀畠82番地の28

森 医 院

平成18年4月

TEL 079-665-0223

発行

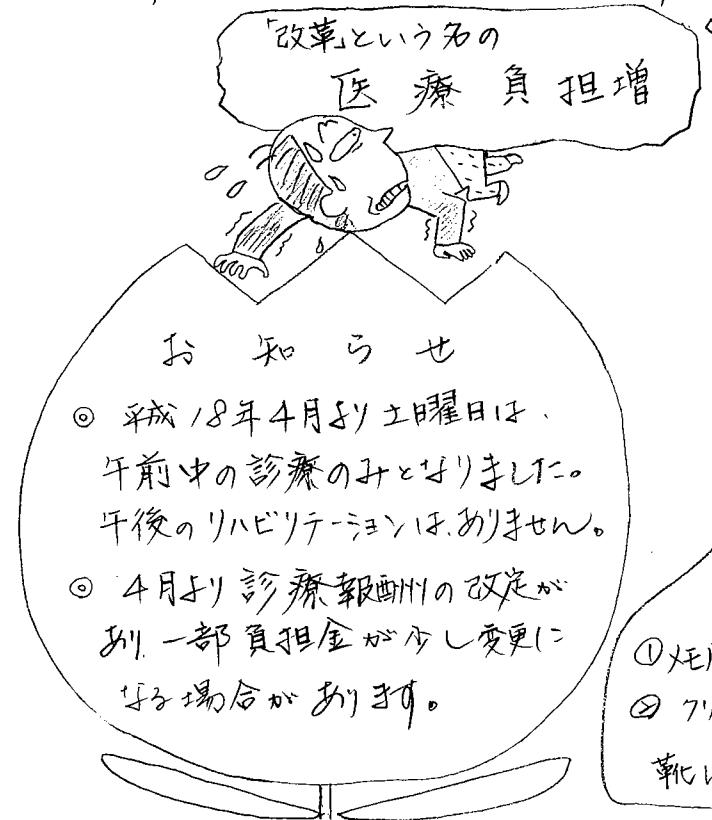
<http://www2.ocn.ne.jp/~moriiin/>

誰のための医療改革か？

4月より医療費の保険給付が大幅に変わりました。小泉内閣は医療改革といっていますが、私たち医療者にとっても患者さんにとっても過酷なものであります。医療者にとっては、今回の-3.16%の減額は実額で約1兆円。医師、看護師など医療従事者約170万人で割れば平均で一人60万円のカットであります。しかし医療機関は安全な医療を行うために、これ以上の人員削減はできません。一方、在日米軍再編に伴う沖縄からグアムへの海兵隊移転費用のうち日本側に求められている負担額が約1兆円。こんな負担、誰もが納得できるものではありません。患者側にとっても厳しい改革が待っています。また国保保険料が大幅に増える。今まで5万円だった人は所得が増えないのに20万円になるといわれています。さらに高齢者の医療費負担割合が1割から2割へ、2割の人は3割になることが予定されています。今でも負担が大きいのにこれでは困ります。医療保険制度改革案での医療費削減額は8兆円にも及び、財界はさらに6兆円を削れといっています。合計で14兆円の削減を要求しています。これでは医療保険はつぶれてしまい、医療保険を空洞化していく、アメリカ式医療の民営化を国民に押し付け、混合診療を導入し、民間医療保険で一儲けしようというオリックスの宮内会長など財界の意図が見えてきます。介護保険も医療保険と同じように削減を求められています。今まで受けていた給付=介護サービスが4月から受けられず、事態が予測されます。病院でも入院在院日数が今まで以上に制限され、患者さんは自宅に帰れます。療養病床も6割減らされ、施設入所介護が必要な人も自宅に帰れます。不況のために国民健康保険料の未納率が↑

↑上がり、資格証明書の交付(保険証が使えない)が全国で30万所帯を超えるました。介護難民、医療難民という言葉が現実味を帯びてきます。小泉首相に訴えたい。医療は郵政とは違います。郵政民営化の次に照準を合わせて医療制度改悪、介護制度改悪は反対していかねばなりません。このまま進めばアメリカのように医療保障のない国家、一部の富裕層しか医療を受けられない国になってしまいます。さあ皆さん、皆さんと力をあわせて日本をもっと住みやすい国に変えていきたいですね。

-院長-



- ① 平成18年4月より土曜日は、午前の診療のみとなります。午後のリハビリテーションはありません。
- ② 4月より診療報酬の改定があり、一部負担金が少し変更になる場合があります。

診療時間表

時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ↓ 12:00	診察	診察	診察	診察	診察	診察
	リハビリ	リハビリ	リハビリ	リハビリ	リハビリ	リハビリ
午後 2:00 ↓ 4:00	往診	検査	往診		検査	
	リハビリ	リハビリ	リハビリ		リハビリ	
夜間 4:30 ↓ 7:00		診察			診察	
		リハビリ			リハビリ	

受付時間

- ・午前診察（月、火、水、木、金、土）
午前7時30分から午前11:30分まで
- ・夜間診察（火、金）
午後4時00分から午後7:00分まで



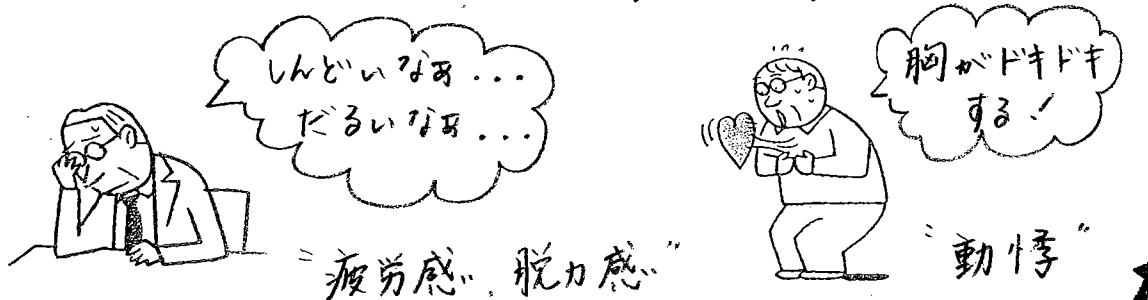
心不全

I. 心臓の働き：人間が生きていくためには、体の各部分に十分な酸素と栄養が行きわたることが必要です。酸素と栄養を運ぶのが血液で、その血液を循環させるポンプの働きをするのが心臓です。このポンプの役目は大きく分けて二つあります。一つは血液を送り出す働き、もう一つは血液を受け取る働きです。万一、このポンプが故障すると、次々と体に影響が出てします。

II. 心不全とは：病名ではなく「心臓の働きが不十分な結果、起きた体の状態」をいいます。もちろん心臓の働きのうちどの働きがどの程度低下しているのか、その低下が急に起きたのか（急性心不全）、徐々に起きたのか（慢性心不全）によって心不全の種類や程度は様々です。

III. 原因：一つではありません。心房細動などの不整脈や心臓弁膜症などの心臓病はもちろん、例えば高血圧で長年心臓に負担のかかっている場合などでも次第に働きが落ち、心不全の原因になります。

IV. 症状：①血液を送り出しがちな能力の低下による症状
「疲れやすい」「だるい」「動悸がある」



②循環血液量の増加（血液中の水分が増加）による症状
「息どおしさ」「咳嗽」「喘鳴」「むくみ」「急激な体重増加」



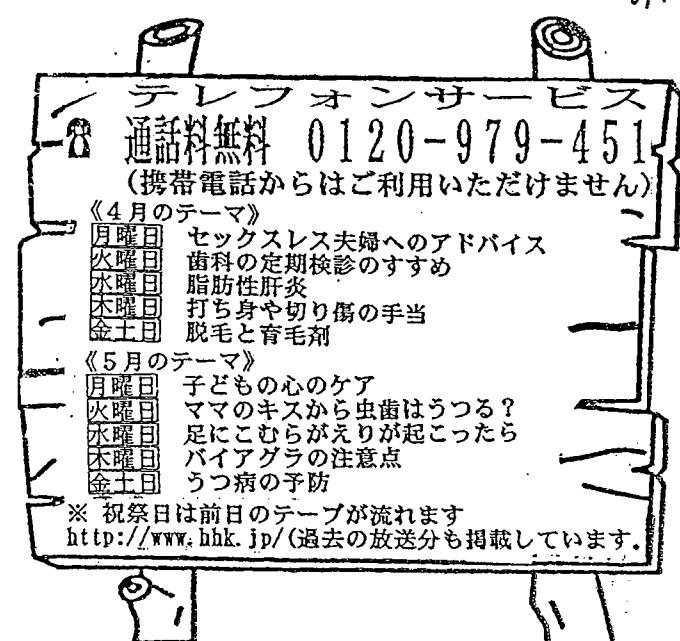
V. 検査 ①胸部X線検査…心臓が大きく（心肥大）していないか、また肺に水が貯まっているかをみます。

②心電図…心不全の原因を調べます。

③血液検査…心不全の存在を敏感にキャッチできる血液検査にBNP（ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド）検査があります。これは心臓から分泌されるホルモンで、心臓过大な負担があると大量に分泌されます。

④心エコー…心臓の収縮と拡張能力の判定

VI. 日常生活での 注意事項 ①塩分制限
②食生活の改善（暴飲暴食を戒め）
③薬の副作用に気をつける（漢方薬を飲むとむくみが出やすい）



編集後記

草木や花も色鮮やかに
風薫る季節になりました。
今回の『たんぽぽ』いかがでしたか？ みなさんの
ご意見・ご感想をお待ち
しています。

次回は7月です。
お楽しみに！